

園長室だより (さむたいむず)

令和8年1月30日第9号 大阪市立桃園幼稚園

1月末から、本格的な寒さが到来しました。それでも子どもたちは外で遊ぶことが大好きです。外で羽根つきをしたり、自転車に乗ったり、マラソンをしたりこの時期ならではの遊びを楽しんでいます。

3学期は、1年の締めくくりの学期です。あっという間に過ぎてしまいますが、子どもたちの大切な1日1日が充実するよう、また、進学、進級に向けて期待をもてるように、取り組んでいきたいと思っております。

5月から始まった未就園児の園庭開放では、在園の子どもたちが受付をしたり、一緒に遊んだり活動してきました。少しずつ顔と名前を覚え、一緒に優しく関わる姿が見られます。小さな子どもたちの背に合わせて、自分たちがかがんだり、危なくないように見守ったり…。優しく、ゆっくりしたテンポで小さいお友達に関わる在園児の子どもたちの姿に大きな成長を感じます。園庭開放の未就園の子どもたちの登録も、52名に増え、時期によって参加の人数が違いますが、回数を重ねる度に新しい発見があります。

また、生活発表会も大きな意義のある行事です。絵本のお話を友達とイメージを共有し、表現して遊ぶのですが、クラスでイメージを共有することも大変難しいのです。一つ一つ確認しながら、進めて行きます。また、劇の中で必要な言葉を子どもたちが考え、決めていきます。その過程を大切にしています。ですので、劇や合奏（楽器遊び）の出来栄え（外に現れているもの）の裏に潜む子どもの内面の成長を感じただけたらと思います。



未就園児（園庭開放）

寒い日は参加人数も少ないですが、子どもたちは、未就園児の子どもたちと一緒にキンカンを探ったり、遊具で遊んでいる子どもたちを見守ったりとても優しく接しています。なんの違和感もなく、小さな友達と隣に座る姿が、なんとも言えない温かな気持ちになります。

未就園児の子どもたちが帰るときは、在園児のトンネルをくぐります。小さな子どもたちも可愛いですが、この優しい在園児の成長も可愛く、愛おしくなります。



こども絵本の森

みんなで行く最後の園外保育でした。素敵な建築の建物の中に、たくさんの絵本があり、落ち着いて絵本を見る事ができます。どこに座ってもいいので、階段やちょっと隠れた場所でしっかりと絵本に親しんでいました。

子どもたちのため、全てを寄付した安藤忠雄さんは、素晴らしい方だあと思いました。館内を案内をしてくださる「森人（もりびと）」さんも、ゆったりとしたテンポで、絵本を読み聞かせしてくださいり、とても素敵な時間でした。



避難訓練

予告なしの避難訓練をしました。そして公園に2次避難を行っています。子どもたちはとても落ち着いて行動していました。担任と子どもたちの信頼関係がしっかりできているなあと感じました。



劇遊び（5歳児）

劇遊びは役がありますが、先に役を決めるのではなく、子どもたちは遊びながら、劇の中でどのようにその遊びを劇にするのかを考え、更に遊びを重ねながら、言葉を考えて行きます。時には、子どもたちの自然な言葉を劇の中に入れることもあります。ですので、まず全員で遊び、表現の方法を決め、そして、言葉を考え、役を決めて行きます。また、その役を交代して遊びます。劇遊びは脚本が先に出来上がっているのではなく、子どもたちの表現から、脚本をつくりていきます。

5歳児がゴム跳びしています。さあこれがどう劇の中に使われているのでしょうか・・・。



楽器遊び（4歳児）

楽器遊びでは、保育室に楽器を自由に遊べるように置いておきます。自由に遊んでいる中で、楽器を触り、鳴らします。でもその時は楽器の扱い方も、雑であったり、片付けの時、力こに投げたりします。その都度、楽器の扱い方を知らせ“楽器は大切なもの”と繰り返し伝えています。ですので、生活発表会で披露するときには、楽器を大切に扱っていると思います。その積み重ねも同時に見ていただきたいです。楽器を大切に扱い、友達と音を重ねることを楽しむ姿は、本当に成長を感じます。

劇遊び（4歳児）

1学期から、カタツムリになったり、雨粒になったり、様々な表現活動を楽しんできた子どもたちです。先生と一緒に、先生と共に気持ちを1つにして表現することを楽しんできました。ですので、動きが松原先生そっくりです…。劇の中でダンスをしたり、友達と交代して楽器を奏でたりもします。その楽器の交代も友達にただ楽器を渡すだけのではなく、会釈して渡す子どももいます。これまでの関わり、生活が表現されています。細かな表現もご覧いただけたら、劇遊びの中で子どもたちの成長を見ていただけると思います。



合奏（5歳児）

保育室で自由に楽器を触って遊んでいます。音階の探し弾きから、合奏に移行しますが、全ての楽器を経験します。（当日は楽器を交代し2回演奏します。

友達と音を合わせ、1つの曲をみんなで合奏している頬もしさは、素晴らしいです。みんなが自信をもって取り組んでいる様子をご覧ください。

生活発表会は、3学期の集大成として全ての大阪市立幼稚園で行われます。生活を発表する場ですので、“生活発表会”といいます。これまでの友達との関わりや、様々な活動で身に付けた自信など、1年の積み重ねを披露する場です。もちろん、大人でも、人前で話すことが平気な方もいれば、苦手な方がおり、得意不得手があります。子どもたちの中には、きっと“恥ずかしい”と思っている子どもたちもいます。それでも先生や友達と一緒にたくさんの方の前で表現活動を披露するわけですから、そこに立っているだけで、全てOK！なのです。保護者の皆様の拍手が、子どもたちの自信につながります。ビデオや記録は大切ですが、どうぞ、演技が終わったときは子どもたちの顔を見て、思いっきり笑顔で拍手してあげてください。